

表 現状に関する情報の整理(案)

	現状把握のための項目	河川管理者からの情報提供(資料の項)	委員会等での意見	委員からの情報提供	その他からの情報提供	
・第2回委員会 ・第1回部会 ・第3回委員会	治水等	洪水防御等	河道等の整備状況	<ul style="list-style-type: none"> ・確率論による洪水流量の表現と過去の洪水にもとづく割り増し洪水流量の表現、2つの方法の比較が必要 ・琵琶湖と下流の水位が双方ともに上がることについて、シミュレーションによってどのような条件下でそのようなことが起こるの可能性があるのか情報を出してもらいたい 		
			洪水量 破堤が生じる可能性のある区間 維持管理 出水時の対応 内水対策 高潮・津波対策 堤防の耐震対策 琵琶湖の水位管理			
・第4回委員会 ・第3回淀川 ・第4回琵琶湖 ・第4回猪名川	環境	水環境、水質	水質	<ul style="list-style-type: none"> ・平常時の水の流し方についても説明してほしい ・琵琶湖の漁獲量のデータについて、アユとその他を分けて見た方が個々の変動が明確になる ・川のそばに住む人にとっての毎日の生活との関わりも重視してほしい。 ・地域の特性も含めて説明がほしい 		
		生態系、動物、植物、自然保護	生物			
		地域、まちづくり、親水性	景観			
・第5回委員会 ・第6回淀川 ・第5回琵琶湖	川と人とのかわり	河川利用	水利用(農業用水、工業用水、飲用水) 空間利用(陸域、水域の利用)	<ul style="list-style-type: none"> ・節水のためにどのような方法が提案されているか、どんな技術があるのか等の説明もほしい ・川としての使い方についての説明をまだ受けていない。 		
		流域管理(土地利用、ソフトな対策など)	出水時の対応(水防団)	<ul style="list-style-type: none"> ・保水、遊水機能、ダムでそれぞれ何割維持するか、土地利用の変化などを踏まえて説明してほしい。 ・ダムだけでなく流域の土地利用など様々な要素を考慮して洪水対策を考える必要がある。 ・ダムがこれ以上必要なのか。森林の成熟によって災害の発生が減少したという報告もある。 ・森林や住宅がどう変化するのか予測的なことも議論する必要がある ・社会システムの現状や人の行動についての情報も将来を考える上で重要 ・治水、利水の施策だけでなく総合的な視点からのソフトな施策についても説明すべき ・水防組織等、ソフトな部分の情報が不足している。 		